

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業(株) 八重製造部

#### (2) 事業所の所在地

〒731-1522 広島県山県郡北広島町 新郷1番5号

#### (3) 業種

広島アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

#### (4) 事業所位置図 別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度を基準年度とし、令和 3年度から令和 12年度までの10年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

#### 1 環境理念

当社は、社会の責任ある一員として企業活動を通じ、人の健康の維持と地球環境の保全に積極的に寄与します。

#### 2 行動指針

1. リサイクル・省資源・省エネルギーに積極的に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
2. 日々の活動において発生する廃棄物の最小化と汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律・規則および関連する協定等について責任を持って遵守します。
4. 環境マネジメントシステムを構築し積極的な環境管理活動を通じ、環境保全の継続的改善を図ります。
5. この「環境方針」を周知すると共に、環境教育・広報活動を通じ、地球環境問題に関する意識向上に努めます。
6. この「環境方針」を遂行するために、環境目的及び目標を設定し、年度毎に見直します。
7. この「環境方針」を一般に開示し、地域社会との共生を図ります。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	令和 元 ( 2019 ) 年度	令和 2 ( 2020 ) 年度
二酸化炭素	17,677	16,860

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 ( ) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 ( ) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 製品重量(t)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 (元) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (12) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	17,677	18,659	0.95	11.6	23,598	27,989	0.84
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	17,677	18,659	0.95	11.6	23,598	27,989	0.84
エネルギー消費原単位 (原油換算k l)	-	-	0.38	11.2	-	-	0.33
目標設定の考え方	社内の環境目標に合わせ 令和12年度までに令和元年度比 11%以上を削減目標とした						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	重油原単位の低減	重油原単位を11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶解炉の熱損失の防止</li> <li>・ アルミ保持炉の定期更新</li> <li>・ 昇温、熱保持の最適化</li> </ul>
2	LPG原単位の低減	LPGの原単位を11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃液設備の効率改善</li> <li>・ 蒸気漏れの点検修理</li> <li>・ 廃液量の削減及び処理設備への油流入を抑制(浮上油の回収)</li> </ul>
3	電力原単位の低減	電気の原単位を11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンプレッサーの最適運転</li> <li>・ 設備(ダイカストマシン)の最適運転</li> <li>・ エアー漏れの点検修理の促進</li> <li>・ 照明設備を高効率タイプに更新</li> </ul>
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

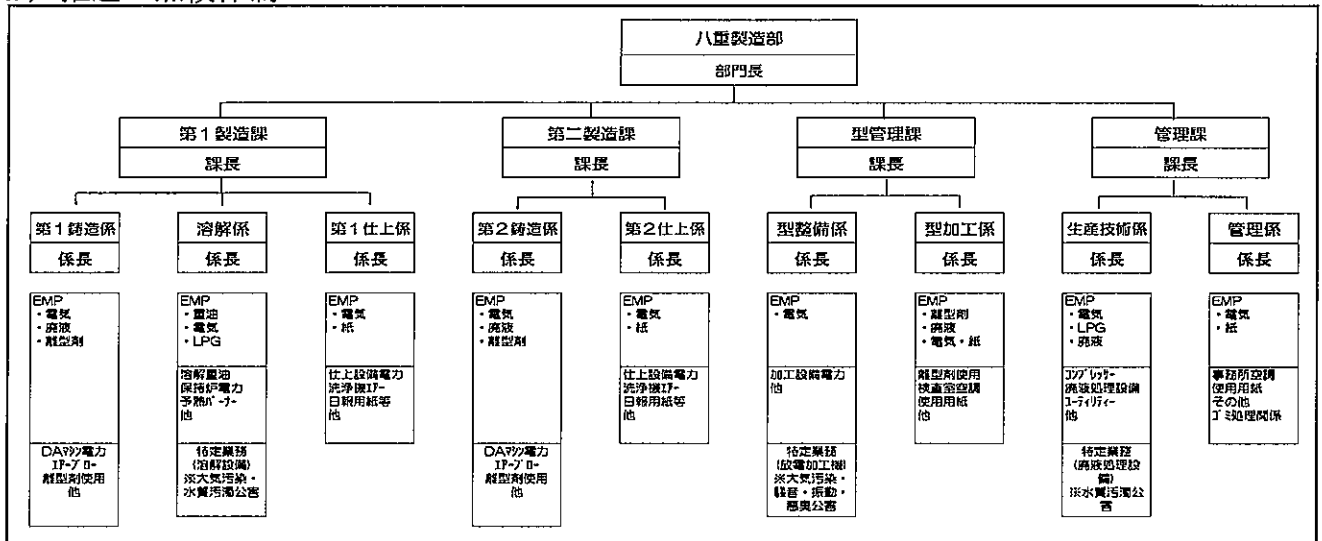
### ○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	廃液排出量の削減	廃液量を11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離型剤使用量の削減</li> <li>・ 水漏れ点検修理と改善</li> </ul>
2	紙使用量の削減	紙使用量を11%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙の再利用</li> <li>・ 電子帳票の活用</li> </ul>
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・年間計画の環境マネジメントプログラムを作成して、各項目について取組み状況の確認と実施状況を毎月フォロー
- ・年1回、ISO14001の内部環境監査を実施

(3) 計画書等の公表

- ・全社の環境分科会で公表する。